

特集！！ハルちゃんが行く！！

～梶原町森林ボランティア協働の森づくり事業～

梶原町では、パートナーズ協定を締結している環境先進企業の方々との交流の場・森づくりの場として、毎年4月29日（昭和の日）に森林ボランティア協働の森づくり事業を実施しています。私、ハルちゃんも所内の職員3名とともに森林整備のお手伝いや指導のため、参加させていただきました！



ハルちゃん

山を放置すると、大きな木が多くなり、木の枝や葉が覆い茂ることで地表に太陽の光が十分に届かなくなります。そこで、大きな木や混み合っている木を伐ってスペースを空けることで、地表にも光が届くようになり、多様な植物が生育することができるようになります。多様な植物が作り出す複雑な環境は、動物も含めた豊かな生態系をつくり出します。さらに、豊かな山は、たくさんの二酸化炭素を吸収し酸素を生み出すとともに、質の良い土壌やたくさんの木の根により水の浄化や山崩れを防ぐ機能も発揮します。



開会のあいさつをする矢野富夫町長



トチノキの記念植樹の様子

当日はとても天気が良く、絶好の間伐日和となりました。まずは梶原町長や関係者の方々による挨拶に続き、トチノキの記念植樹が行われました。今回は、3者（矢崎総業株式会社、高知県、梶原町）によるパートナーズ協定を締結している町有林（FSC認証森林）のうち、木が生い茂って森の中が暗くなってしまった場所で間伐を行いました。

参加者のみなさんは、子供から大人まで、総勢 200 名以上！県内外からの参加でした。はじめはノコギリの扱いに戸惑っているようでしたが、慣れてくると木を伐るのが楽しくなってきたようです。大きな木を伐り倒すときには、周りに人がいないかしっかり確認の上、伐倒方向を決めて慎重に倒していました。清々しい新緑の森の中での作業で、とてもリフレッシュできました。

今後も、林業事務所がパートナーズ企業と地域との交流活動をサポートし、協働の森づくり事業が継続できるように取り組みたいと思います！



「矢崎の森」は、森林セラピーロードとして整備し、認定されています



間伐が終わって、地面に太陽の光が届き明るくなりました



たくさんの募金にもご協力いただき、ありがとうございました。左の写真は募金のお礼にお渡ししたグッズのひとつの木製バッジです。

参加者のみなさん、お疲れ様でした！

